



七夕に願いを込めて

7月7日（水曜日）。代表委員会が中心となって七夕集会を開催しました。はじめに、各学級の代表が短冊に書いた願い事を発表しました。「ケーキ屋さんになりたい」というかわいいお願いや「平泳ぎができるようになりたい」という意欲的なもの。「コロナが早く治まってほしい」というみんなのための願いなど、いろいろな願い事が短冊には書いてありました。

願い事の発表の後は、代表委員会のみんなが考えた七夕の劇やクイズを全校生で楽しみました。劇の台本を作ったり、クイズにする星座のことを調べたり、今回の集会のために2週間をかけて準備してきました。自分たちで集会を企画・運営する姿に、福田小の子どもたちの素晴らしさを感じました。



七夕の夜。子どもたちは、どんな思いで空を見上げたのでしょうか。子どもたちが目標に向かってがんばり、一人一人の願いが実現されることを期待しています。

☆今回の七夕集会で使用した竹は、秋山の蓮沼昇さんが、「子どもたちのために」と提供してくださったものです。おかげで素敵な七夕飾りが完成しました。ありがとうございました。



【地域みんなで通学路の安全を考える】



7月5日（月曜日）。千葉県で先日発生した小学生の痛ましい事故を受け、地域の各団体（交通安全協会、母の会、見守り隊、自治会、行政区、町教育委員会、PTA）の代表の皆さんに集まいただき、通学路の安全対策を協議し、その情報を共有する話し合いを行いました。子どもたちの登下校する際に危険と思われる場所はどこか。その危険を回避するために各団体でどんなことができるか。町や警察にお願いすることは何か。地域の皆さんへの啓発をどうするか、など、それぞれの立場から活発な話し合いがなされました。地域全体で、子どもたちの安全対策を考え、情報を共有できたことは、とても有意義なことだったと思います。子どもたちの安全を願う地域の皆さんの温かい思いに感謝いたします。

【防犯教室（不審者対応）】

7月6日（火曜日）。不審者が学校に現れた場面を想定した防犯教室を行いました。子どもたちは、放送の指示に従い、体育館へ迅速に避難し、安全を確保できました。また、教職員も不審者への対応の方法を、実践を通して具体的に研修できました。

避難した後の全体会では、福島警察署川俣分庁舎の皆さんから、「いかのおすし」の話を交え、知らない人に声をかけられた場合の対応の仕方を教えていただきました。子どもたちは、どの子も真剣な表情で聞き入っていました。

もうすぐ夏休みがやってきます。安全で楽しい毎日になるように、一人一人が今回の学習を忘れずに生活して行ってほしいと願っています。

